



初バリさんのための！

バリ島キホンBOOK



【出発前】日本でした方がいいことリスト

1. オンラインビザ取得 (e-VOA)

2024年8月現在、日本のパスポートでインドネシアに入国するにはビザが必要です。観光客向けのビザはVOA (Visa On Arrival / ビザ・オン・アライバル) です。現在はオンラインでeビザ (e-VOA) が取得できるようになりました。e-VOAを取っておくと空港から出るまでの時間を大幅に短縮できるため、事前取得がおすすめです。

オンラインから申込で即日発行できるため、出発直前でも大丈夫。メールで届いたe-VOA (PDF) はスマホやタブレットなどに忘れずに保存しておきましょう。印刷する必要はありませんが、印刷して紙で持ってきててもOKです。

- 有効期間：30日
- 取得費用：50USD
- 取得方法：専用サイト
(<https://molina.imigrasi.go.id/front/login>) にログインの上、旅行情報を入力し、クレジットカードで決済。決済後、QRコードが記載されたe-VOA (PDF) がメールで届きます (所要時間は30分～1時間ほど)
- 所要期間：0日。即日発行

✔ 類似サイトに注意！

e-VOAの公式サイトを装った類似サイトが多くあります。“オンラインで取得したいのに類似サイトが多過ぎて、どれが本物のサイトなのかわからない！”というお声をよく聞くので、間違えないでくださいね。

e-VOA 公式サイト

▶ <https://molina.imigrasi.go.id/front/login>



✔ イミグレの自動化ゲートでさらに時短！

2024年より、デンパサール空港でイミグレーションの自動化ゲートが始まりました。事前にe-VOAを取得している場合のみ、この自動化ゲートが利用できます。今まで通りの有人のイミグレーションカウンターもありますが、長蛇の列になることが多いです。

✔ ビザは当日空港でも取得可能

ビザ (VOA) は今まで通り到着時にデンパサール空港でも取得できます。ただしビザカウンターが混み合っている場合は、30分～1時間程度並ぶ場合があります。スムーズに手続きを終えたい場合は、オンラインで事前に手続きをするのがおすすめです。

バリ倶楽部
代表オジマより



空港での待ち時間を考えると
VISAは事前オンライン申請が
おすすめです！

2. オンライン税関申告 (e-CD)

インドネシア入国時の税関申告書は全面的に電子化され、事前に申告できるようになりました。公式サイトにて、到着日の3日前から申告可能です。空港到着後、事前手続きで取得したQRコードを職員に提示する必要があります。QRコードはスマホやタブレットなどに忘れずに保存しておきましょう。印刷したものも使えます。印刷する必要はありませんが、印刷して持ってきててもOKです。

オンライン税関申告 公式サイト

▶ <https://ecd.beacukai.go.id/>

*税関申告は到着時にデンパサール空港でご自身のスマホや空港に設置してあるPCから登録することもできます。ただし、スペースが混雑している場合は10分～30分ほどかかる場合も。スムーズに手続きを終えたい場合は、オンラインで事前に手続きをするのがおすすめです。

▶ [バリ島空港出入国ガイドブログ](#)

3. 日本で買ってきた方がいいもの

✔ 日焼け止め

バリ島のコンビニやスーパーでも購入できますが、日本に比べて2倍以上高かったり、日焼け効果に信頼性が低そうな物が多いです。日焼け止めは多めに日本から持ってくるのがおすすめです！



✔ 日本の薬

常備薬は日本から持ってくるのがおすすめ。風邪薬や解熱剤、下痢止めなどはバリ島のコンビニや薬局でも簡単に手に入りますが、パッケージがインドネシア語や英語なので難易度が高いです。



～スタッフが日本で買ってくるお薬例～

ロキソニン、イブ、パファリン、ビオフェルミン、正露丸、バブロン、軟膏 (虫さされ用、皮膚炎用) など

✔ 変換プラグ

Aタイプ⇄Cタイプに変換できるプラグ。バリ島でも買えるが日本で買ってくるのがおすすめ。ダイソーで購入可能

✔ 酒飲みさんにはお酒もおすすめ

バリ島はお酒が高い！ビンタンビールやバリハリビールなどのローカルビールはお手頃価格ですが、それ以外のお酒 (蒸留酒やワイン) は日本より高いです。

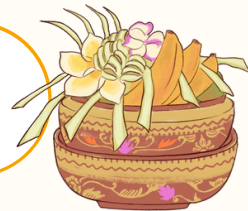
バリ島の日系スーパーPapayaでは「日本酒 男山 720ml」が5,500円～。そのため、日本からのお土産にお酒をリクエストする在住者も多いです (笑)

ウィスキーや焼酎派で、ホテルの部屋で飲みたい..という方はお酒持参がおすすめ。インドネシアの税関規定では、お酒は1人当たり1リットルまで持ち込むことができます。



▶ [バリ島旅行に必要な準備まるわかりブログ](#)

【初バリさん必読】 バリ島の基本情報 その1



時 差



✓ バリ島と日本の時差は1時間

バリ島と日本との時差は1時間で、バリ島の方が日本より1時間遅れています。

バリ島は、UTC+8（インドネシア中部時間）を採用しています。
日本は、UTC+9（日本標準時）を採用しています。

✓ ジャカルタとバリ島は時間が違う

インドネシアには3つのタイムゾーンがあります。ジャカルタのタイムゾーンはUTC+8で、バリ島とは1時間、日本とは2時間の時差があります。

[例]

日本時間 朝 10時

バリ時間 朝 9時

ジャカルタ時間 朝 8時



両 替



バリ倶楽部スタッフの結論！

日本円からルピアへの両替はこの順番にお得＆安全です！

1. 街中にある信頼性の高い両替所で両替
一番おすすめの方法。在住者が利用する信頼性の高い両替所は「BMC」と「Central Kuta」です。

BMCは青色と赤字の
看板が目印！
BMC Seminyak



2. ホテルの両替所で両替
宿泊ホテルで両替する方法。安心感がありますが、街中の両替所に比べてレートは悪くなります。
3. デンバサール空港で両替
空港の到着フロアにある両替所で両替する方法。手軽ではありますが、レートはさらに悪くなります。
4. 日本で両替
日本の空港や銀行で両替する方法。レートが非常に悪いのでおすすめしません。

通 貨



インドネシアの通貨はインドネシア・ルピア（Indonesian Rupiah, 通貨コード: IDR）です。

ルピアの紙幣には日本円より沢山の種類があります。

✓ ルピア↑日本円換算は「0を2個取る」で解決！

ルピアは桁数が多くて日本円でいくらかよく分からない..という声を聞きます。簡単な解決法は「0を2個取って日本円で考える」です。最近は円安のため、この方法でいたい合っています。

10,000ルピア = 約100円
100,000ルピア = 約1,000円

○紙幣

1,000ルピア（約10円）
2,000ルピア（約20円）
5,000ルピア（約50円）
10,000ルピア（約100円）
20,000ルピア（約200円）
50,000ルピア（約500円）
100,000ルピア（約1000円）

○硬貨

100ルピア（約1円）
200ルピア（約2円）
500ルピア（約5円）
1,000ルピア（約10円）



✓ 使いやすい紙幣と使いにくい紙幣

バリ島で生活していると、高額紙幣の「100,000ルピア（1000円）」は使いづらいことが多いです。バリ島のお店は日本のようにお釣りの備えが十分ではありません。レストランやショップ、タクシーでお釣りがない！と言われることがよくあります。

例えば、「20,000ルピア（200円）」の買い物をして「100,000ルピア紙幣（1000円）」を出すと「80,000ルピア分もお釣りがないよ.. もっと細かいお金ない？」などと言われることがあります。そのため「100,000ルピア紙幣」は積極的にくずして「50,000ルピア紙幣」などに替えておくのがおすすめです。

スタッフの所感では、
10,000ルピア（約100円） 紫色の紙幣
20,000ルピア（約200円） 緑色の紙幣
50,000ルピア（約500円） 青色の紙幣
このあたりの紙幣が使いやすい印象です！

バリ倶楽部
代表オジマより



ガイドへのチップはいくらがいい？と聞いていただくことがあります。本ツアー料金に含まれてますが、予想以上にツアーを満喫出来た場合は、お気持ちで5万ルピア（500円程度）渡して頂けたらありがたいです。

▶ [バリ島のチップ事情まるわかりブログ](#)

【初バリさん必読】 バリ島の基本情報 その2



プラグと電圧

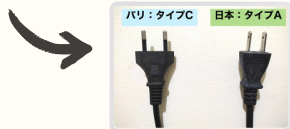


✓コンセントの形状

バリ島のコンセントの形状は「Cタイプ」で、日本のAタイプと異なります。丸いピンが2本出ているタイプです。

✓電圧

電圧：バリ島の電圧は220Vです。



✓日本から旅行する場合の注意点

- ①出発前に変換プラグを用意する
コンセントの変換プラグは必須です。ダイソーなど100円均一で購入できます。
- ②出発前に電圧を確認する
日本の電圧は100Vで、バリ島は220Vです。ほとんどの携帯電話やラップトップの充電器は100V-240V対応ですが、古い家電製品や一部の電子機器は対応していない場合があります。使用する機器が220Vに対応しているか要チェック！

▶プラグと電圧まるわかりブログ

移動



✓観光客におすすめの移動方法は？

観光客におすすめの移動方法はこちら！

- ・メータータクシー（Blue Birdがおすすめ）
- ・アプリタクシー（Grab、Gojekがおすすめ）
- ・日系旅行会社のカーチャーター
- ・バリ倶楽部のカーチャーター
- ・観光客向けバス（クラクラバス、ブラマバス）

他には、ローカル向けの公共バスがありますが、観光客にはハードルが高いためおすすめできません。

バリ倶楽部では、ご希望のお客様には提携カーチャーターのご紹介もしています。

▶<https://oji-baliclub.com/car-charter/>

✓空港からホテルまでの移動方法は？

デンパサール空港からホテルまでの移動方法には、以下のような手段があります。

- ・定額料金の空港タクシー
- ・料金交渉制の白タク
- ・アプリタクシー（Grab、Gojek）
- ・事前オンライン予約配車（Klook）
- ・公共バス（メトロデワタ）
- ・日系旅行会社の空港送迎
- ・バリ倶楽部の空港送迎（ツアーご利用のお客様限定）



ブルーバードタクシー
青い車体と鳥のマークが目印！

▶バリ島空港からの移動手段まるわかりブログ

天気



バリ島は熱帯モンスーン気候に属しており、一年を通じて高温多湿です。

バリ島の年間平均気温：

最低気温： 20～24℃

最高気温： 29～33℃

バリ島には主に2つの季節があります！

① 雨季： 11月から3月

高温多湿で、特に12月から2月にかけて雨が多く降ります。多くの場合、午後や夜に短時間の激しい雨が降ります。

② 乾季： 4月から10月

比較的乾燥しており、雨が少なく、過ごしやすい時期とされています。日中は暖かく、夜は涼しい風が吹いて肌寒いことも。

✓在住者の常識！？バリ島の天気あるある

- ・天気予報は当たらない
- ・ヌサドゥアとクタなどエリアが違えば天気が全然違うこともある
- ・雨が降る場合、一日降ることはあまりなく、短時間のスコールが多い
- ・最近は雨季でも雨が降らなかったり、乾季でも雨が降ることもある

言語



✓バリ島で通じる言葉は3つ

- ① インドネシア語（公用語）
 - ② バリ語（地方語）
 - ③ 英語（主に観光エリア）
- です。

インドネシアの公用語はインドネシア語（Bahasa Indonesia）です。これは国全体で教育やビジネスなどで使用される共通言語です。インドネシア語はマレー語に基づいているため、マレー語と似ています。

インドネシアは現在でも約700もの地方語が話されています。バリ島の人々の中で使われている「バリ語（Balinese）」や、ジャワ島中部で使われている「ジャワ語（Javanese）」も地方語の一つです。

また、バリ島はリゾート地なので、観光エリアでは英語が通じます。ホテルや観光客が多いレストラン、観光地などのスタッフは英語を流暢に話せる場合が多いです。

✓日本語は通じる？

現地で日本語を話せる人はあまりいませんが、大型リゾートや日系ホテルには日本語が話せるスタッフがいたり、日系のレストランでは日本語メニューがある場合があります。

バリ倶楽部
代表オジマより



バリ倶楽部はもちろん
日本語ガイドがご案内しています。
日本語現地ツアーを希望している方は
バリ倶楽部にお任せください！